

事業計画を検討

問い合わせ 商工観光課 観光プロジェクト係 (☎ 8277)



分科会からの提案を協議する観光プロジェクト会議

総社観光プロジェクトが10月5日、総合福祉センターで開かれ、デザインや特産品、広報・宣伝、絆など8つの分科会から提案された事業計画を委員らで検討。来年1月の報告書作成に向け、詰め作業の確認をしました。委員16人と、市の幹部職員らの合計約40人が出席。情報通信技術の活用や、特産品となる新商品の開発、分売りやすく上質な案内看板や標識のデザインなど、提案のあった23件の事業計画について協議しました。

実施が可能な事業計画については、平成22年度の事業として取り組んでいく予定です。

共同アンテナ施設の 地デジ化 改修費用を助成

1世帯あたりの改修費用 3万5000円以上なら デジサポへ相談

アパート・マンションの管理者や受信障害対策として共同アンテナを設置している共聴組合が、地上デジタル放送が視聴できるように改修する場合、改修内容によっては費用の一部を国が助成します。総務省テレビ受信支援センター(デジサポ)では、改修方法などの相談も受け付けています。

問い合わせ
総務省テレビ受信支援センター(デジサポ)
☎ 0570-093-724

外国人相談窓口は人権・まちづくり課へ移動 多文化共生推進員を配置

10月から人権・まちづくり課に多文化共生推進員1人を配置しました。

推進員の役割は、ブラジル人の生活支援相談や通訳、申請書やお知らせの翻訳です。

また、10月6日から外国人相談窓口が商工観光課から人権・まちづくり課へ移動し、毎週、火曜日と木曜日の午後1時から4時まで受け付けます。



多文化共生推進員の譚俊偉(たんしゅんわい)さん

多文化共生の問い合わせ 人権・まちづくり課国際・交流推進係 (☎ 92-8242)

ブラジル人と意見交換

多文化共生推進検討委員会



通訳を介しながら意見交換を行った

市職員で構成する市多文化共生推進検討委員会は9月16日、サンワーク総社で市内に住むブラジル人と会合をもちました。会にはブラジル人約20人が参加。言葉の問題をはじめ、仕事、情報の入手、病院などへ行くこと、通訳など日ごろ困っていることや、消防や地震対策の講習会の開催要望などについて意見交換しました。

スポーツの秋
読書の秋

県立大で楽しむ

岡山県立大学内の施設で、今年9月から一般への本の貸し出しが可能になった附属図書館に加え、11月1日からは野球場とグラウンド(サッカー場)も利用できます。



野球場

野球場・グラウンド(サッカー場)

11月1日分から利用できます。
対象 市内に在住か在勤の人が半分以上を占める団体

利用時間 通年(12月29日から翌年1月3日を除く)で、午前9時から日没(午後7時が限度)まで

利用料金 野球場、グラウンド(サッカー場)とも、1時間当たり一般が2000円、高校生以下500円

予約方法 希望日の前月1日から15日までの間で、平日の午前9時から午後5時までに申し込む。電話による仮予約は平日の午前9時から午後3時まで
※大学の行事や大学内の利用を優先するため、使用許可を受けた場合でも、使用の調整や制限をすることがあります。

申込先・問い合わせ 岡山県立大学事務局総務課 (☎ 2111)

附属図書館

対象 県内に在住か在勤、在学で18歳以上の人

利用時間 左下の表のとおり

利用方法 利用時には、運転免許証か保険証などの本人確認ができるものを提示し、利用申込が必要。貸出期間は14日以内。貸出冊数は3冊以内

問い合わせ 岡山県立大学附属図書館 (☎ 2008)



学術書を中心に約21万冊を備える附属図書館

利用時間

	通常期間 ※1	休業期間 ※2
平日	9:00 ~ 21:30	9:00 ~ 17:00
土曜日	9:00 ~ 17:00	休館

休館日 日曜日、国民の祝日、年末年始、5/29、臨時休館日あり

※1 通常期間は、1/8~2/28、4/8~7/31、10/1~12/21。※2 休業期間は、3/1~4/7、8/1~9/30、12/22~1/7。

7月と1月中旬から2月中旬に行われる大学の定期試験の時期を含む約1か月間は貸し出しできません。

詳細は、<http://opulibsv.lib.oka-pu.ac.jp/>で。

ユニバーサルデザインやカラーコーディネートを学ぶ

総社高校も県立大と連携講座



森下教授からユニバーサルデザインのおたまじゃくしやスプーンなどの説明を聞く生徒

大学教員の指導で専門的な知識や技術を生徒に習得してもらおうと、総社高校では岡山県立大学と連携し9月15日、同大学を会場に連携講座を始めました。

講座は、デザインをテーマに12月までの6回シリーズで、同高校の家政科2年生18人が受講。生徒は同大学の教授から、ユニバーサルデザインやカラーコーディネート、インテリアデザインの講義を受けます。

この日は、同大学のデザイン学部の森下眞行教授がユニバーサルデザインについて講義。実際の商標を触ったり、クイズに答えたりしながら、人にやさしいデザインとは何か、どうすると人にやさしいデザインになるのかなどを生徒たちは学びました。

同校は、家政科のデザイン基礎の授業の12時間分を連携講座により実施。